

令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日まで)

I 会務の概況

1 会員数 (令和3年4月1日現在)

区 分	団 体 数
正 会 員 (社 員)	40 団体
(地方公共団体)	(34 団体)
(関係団体)	(6 団体)
賛 助 会 員	3 団体
計	43 団体

2 職員数 (令和3年4月1日現在)

所 属	正規・嘱託職員	非常勤職員	計
事務局 (事務局長を含む。)	2 名	1 名	3 名
第1指導班 (東部保健所)	2 名	1 名	3 名
第2指導班 (富士保健所)	2 名	1 名	3 名
第3指導班 (中部保健所)	2 名	1 名	3 名
第4指導班 (県動物管理指導センター)	3 名		3 名
静岡市動物愛護館		5 名	5 名
県動物管理指導センター		0 名	0 名
計	11 名	9 名	20 名

3 会 議

(1) 総 会

ア 第53回定時総会 (みなし決議)

令和2年6月18日

議 事

第1号議案 令和元年度事業報告並びに正味財産増減計算書及び貸借対照表承認の件

第2号議案 令和2年度会費の額及び徴収に関する件

第3号議案 役員の補欠選任に関する承認の件

第4号議案 令和2年度役員報酬に関する承認の件

報告事項

(1) 令和元年度公益目的支出計画実施報告書について

(2) 公益目的支出計画の変更認可申請について

(3) 令和2年度事業計画書及び正味財産増減予算書について

(4) 団体賛助会員の入会について

(2) 理事会

ア 第1回理事会（みなし決議）

令和2年5月28日

議 事

第1号議案 令和元年度事業報告並びに正味財産増減計算書及び貸借対照表承認の件

第2号議案 令和元年度公益目的支出計画実施報告書承認の件

第3号議案 役員の補欠選任に関する承認の件

第4号議案 公益目的支出計画の変更認可申請承認の件

第5号議案 団体賛助会員の入会承認の件

イ 第2回理事会

令和2年6月29日（みなし決議）

議 事

第1号議案 副会長の選定に関する件

ウ 第3回理事会（みなし決議）

令和2年11月20日

議 事

第1号議案 令和2年度上半期事業の実施並びに収支の状況について

第2号議案 令和2年度下半期の主な事業について

第3号議案 負傷動物等保護収容措置業務規程の改正について

報告事項

(1) 公益目的支出計画変更認可申請について

(2) 動物愛護フェスティバル静岡について

エ 第4回理事会（みなし決議）

令和3年3月24日

議 事

第1号議案 令和2年補正予算（案）承認の件

第2号議案 令和3年度事業計画（案）承認の件

第3号議案 令和3年度会費の額及び徴収に関する件

第4号議案 令和3年度役員報酬（案）に関する件

第5号議案 令和3年度会計予算（案）承認の件

報告事項

(1) 公益目的支出計画変更認可について

(2) 登録動物愛護ボランティア現況調査結果

II 実施事業

1 動物愛護思想の普及推進に関する事業

(1) 動物愛護週間行事の推進のための事業

ア 「動物愛護フェスティバル静岡2020」

毎年度開催している動物愛護フェスティバルは、新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催について関係者と協議した結果、「動物愛護絵画・作文コンクール優秀作品賞受賞者の表彰」及び「動物保護・愛護・長寿動物飼養功労者への表彰」等を目的とした「セレモニー」と、「動物とのふれあい」や「災害救助犬の実演」などを中心とした「屋外イベント」について、今年度は中止して、展示会のみ開催することとした。

【展示会】

- ・展示内容：動物愛護絵画・作文コンクール入賞作品の展示会
- ・実施日：令和2年9月26日から9月27日
- ・実施場所：藤枝市生涯学習センター1階ホール
- ・参加人数：144名

イ 協会ホームページ内の動物愛護思想普及啓発ページの新規設置

新型コロナウイルス感染拡大の中、動物愛護週間中に開催した動物愛護絵画・作文コンクールの入賞作品について閲覧用のページをホームページ内に新規設置し、多くの方に閲覧してもらうことにより動物愛護思想の普及啓発を行った。

ウ アニマルカレンダーの作成及び配布

多くの方に動物愛護の意識を深めることを目的に、一般の方から動物の写真を募集してアニマルカレンダーを作成した。一年間活用してもらうことにより、さらなる動物愛護意識の普及啓発を図ることに努めた。

エ 動物保護功労・動物愛護功労及び長寿動物飼養功労者等の表彰

動物の保護や動物愛護思想の普及啓発に特に功績のあった個人又は団体並びに他の模範となる動物飼養管理者等を表彰した。

(一社) 静岡県動物保護協会会長表彰 [受賞者氏名(敬称略)並びに団体名]

【動物保護功労】3名及び1団体

彦野 雅人、藤川 渉、土井 公明、猫部

【動物愛護功労】4名

藤本 悦子、池谷 みち子、金原 純子、手島 雅子

【長寿動物飼養功労者】20名(犬7名、猫13名)

小池 由季菜、光飛田 晴也、粳田 祐一、梶田 和子、永田 久美子
宮地 睦子、藤田 扶美子、朝比奈 栄一、杉村 倫子、曾根 幹治
宮島 由郎、新村 恵一、紅林 静雄、古俣 左和子、内田 康正、
大石 孝、河合 久美子、小山 順也、水野 栄之、山下 広司

【感謝状】4名及び4団体

秋山 玲子、片山 亜弥香、渡部 久美、井上 歩
有限会社内田芸能社、NPO 法人ワンワンパーティクラブ
サンワ商事株式会社、認定NPO 法人災害救助犬静岡

オ 第44回(令和2年度)小・中学生動物愛護絵画・作文コンクールの開催

動物とのふれあいやその飼養経験は、児童・生徒が思いやりを持ち心豊かに

育っていくうえで貴重な経験となる。このため、動物愛護絵画・作文コンクールを通じて、身近な動物とのふれあいの中で感じたことを絵画・作文として表現することにより、動物愛護の気持ちが更に深まることを目的として、県下の小・中学生を対象に毎年度開催している。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県下の小・中学校の夏休み期間が例年よりも短かったため、昨年度に比べ応募点数が少なかった。

この状況下にもかかわらず、44年間継続して開催をしてきたことから各学校や先生方にご協力いただき、多くの応募があった。

①募集期間：令和2年6月から9月4日まで

②応募状況と優秀賞作品数

区分	応募絵画数	応募作文数	合計応募数	優秀賞作品数
小学校	368点	43点	52校 411点	絵画：8点 作文：8点
中学校	243点	410点	54校 653点	絵画：8点 作文：8点
計	611点	453点	106校 1,064点	絵画：16点 作文：16点

③受賞状況

絵画部門・作文部門の優秀賞の児童・生徒に、静岡県知事賞、静岡県議会議長賞、静岡県教育委員会教育長賞、静岡県市長会長賞、静岡県町村会長賞、藤枝市長賞、(公社)静岡県獣医師会会長賞、(一社)静岡県動物保護協会会長賞の授与
カ 小・中学生動物愛護絵画・作文コンクール優秀作品集の発刊

毎年度、動物愛護絵画・作文コンクールの受賞作品をまとめた優秀作品集を発刊しているが、入選作品にも優秀な作品が多いため、今年度より入選作品も加えて、多くの方に関覧してもらうことで、動物愛護意識の普及啓発に努めた。

2月に1000部を発刊・配布した。

キ 動物愛護週間街頭キャンペーンの実施

動物の愛護及び管理に関する法律で定められた「動物愛護週間」及び当年度開催する「動物愛護フェスティバル」を周知するため、特定の場所で啓発資材を配布する街頭啓発キャンペーンを予定していた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3密を避ける啓発方法に変更し、配布しやすく、3密となりにくい啓発資材を作成し、市町会員や(公社)静岡県獣医師会会員の動物病院に配架してもらうよう協力依頼をした。

また、設置個所と配布部数を多くし、多くの方に手に渡ることで、広く県民に動物愛護の意識普及に努めた。

- ・配布場所：市町会員34ヶ所、動物病院194ヶ所

- ・配布部数：8,000部

- ・啓発資材：9月20日から9月26日の期間に動物愛護週間と明記した付箋

ク 動物愛護週間啓発看板の設置

令和2年8月30日から令和2年9月26日まで、JR静岡駅北口中央地下道に「動物愛護週間」を広く県民に広報する横断幕を掲出した。

(2) 支部事業

下記のアからエの事業については、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により上半期は全計画が中止となった。下半期は感染症対策を整え、徐々に事業を再開したため、実施件数は少なくなった

ア 動物愛護教室の開催

児童・生徒を対象に、動物の生態、習性を通してその適正な飼養・管理や危害防止等を学ぶとともに、生命を大切にす優しい心を育てることを目的として開催した。

開催状況：1市(富士市)で6回開催

受講者等：163名

イ 犬と猫の飼い方教室の開催

人と動物との共生を目指して、社会性のある犬の育て方や猫の習性などの知識を学び、適正な飼養管理の普及・向上を図ることを目的として開催した。

開催状況：1市(伊東市)で開催

受講者等：19名

ウ 社会福祉施設での動物ふれあい訪問活動

社会福祉施設の入居者を対象に、動物を通して潤いと安らぎを感じてもらうことを目的に、ボランティア団体等の協力を得て毎年度開催していたが新型コロナウイルス感染症拡大により、計画していた施設での動物ふれあい訪問活動はすべて中止となった。

エ 飼い主を対象としたペットの災害対策研修会

大規模災害の発生に備え、飼い主とペットが安全に同行避難し、さらに、避難所等での生活を余儀なくされた場合を想定し、クレート(ケージ)順応訓練の方法、飼い主明示、ペット用食料の備蓄、室内飼育(猫)や不妊・去勢措置などの準備を周知することを目的として開催した。

開催状況：3市町(富士市、御殿場市、小山町)で延べ6回開催

受講者：117名

参加スタッフ：32名 1頭(参加動物)

(3) 猫の適正管理推進モデル事業

「飼い主のいない猫」の問題が顕在化している地域(地区)を指定し、市町が地域の自治会・獣医師会・動物愛護ボランティア等と協働して、猫の不妊・去勢と適正飼養の推進・捨猫防止や環境美化など「地域猫」問題に取り組む事業の支援を行った。

指定市町・地区・支部：12市町の17地区(9支部)

不妊・去勢措置実施頭数：97頭

(4) 「ポッチとニャンチの愛の伝言板」の設置・運営事業

ア 伝言板の利用実績

家庭で飼養している犬や猫等をゆずりたい人と新しく飼いたい人との間で橋渡しを行う場を提供することにより、ペット動物の終生飼養と殺処分の減少につなげることを目的に実施した。

申込頭数：780頭（犬124頭、猫648頭、その他8頭）

成立頭数：481頭（犬76頭、猫405頭、その他0頭）

イ 伝言板の設置市町及び設置箇所

伝言板設置市町は32市町、設置箇所は41カ所

(5) 動物愛護に関する啓発・広報活動事業

ア ホームページによる新しい飼い主探しのための情報提供

不幸な動物を減らすため、本協会のホームページに「成犬譲渡情報」や「新しい飼い主探し」のページを設け、県民への情報提供に努めた。

イ ホームページでのQ&Aの設置

電話やメールからの問合せ内容や相談内容が多い案件を取りまとめたQ&Aをホームページに掲載し、相談できない時間帯や電話で話が出来ない方でも、インターネットで検索することで解決するように「よくあるご質問」ページを新設した。

(6) 動物愛護相談事業

事務局に寄せられた297件の様々な相談に対応した。その内容は、動物の譲渡、虐待防止、飼い主不明の猫の保護依頼、動物愛護ボランティア活動、多頭飼育問題についての質問など多様であった。

(7) 動物保護管理指導員活動事業

ア 動物の保護及び管理に関する指導・助言

① 動物の保護及び管理に関する指導・助言

本協会が委嘱している動物保護管理指導員(11支部67名)が地域を巡回し、動物による危害の防止や適正な取り扱い等に関する指導、地域住民からの不妊・去勢、飼い方や健康管理に関する相談に対応した。

実績 ・危険防止指導頭数 1,000頭(犬797頭、猫203頭)

・生活環境の保全・飼い方指導件数 1,221件

(犬756件、猫446件、その他19件)

・不妊去勢・新しい飼い主さがし・所有者明示の指導頭数 949頭

(犬224頭、猫720頭、その他5頭)

・犬の登録等の指導頭数 193頭

・その他144件(犬関係97件、猫関係45件、その他2件)

など様々な指導を行うとともに住民からの相談に対応した。

② 支部・市町への協力

各支部・市町の実施した様々な動物愛護事業に参加・協力した。

実績：406回(動物愛護教室13回、動物ふれあい訪問活動5回、ペット動物の災害対策27回、犬と猫の飼い方教室29回、飼い主のいない猫対策332回)

(8) 静岡県被災動物救護計画等推進のための事業

ア 地域の防災訓練等への参加

新型コロナウイルスの蔓延防止のため、県内市町において地域防災訓練が縮小、中止となったため、本年度は小山町藤曲地区の合同防災訓練に参加し、ペットの災害対策について広報した。

実績： 広報対象人数 55人

イ 防災関係のイベントへの参加

6市で開催された防災に関係する研修会等に参加し、チラシ・パンフレット・パネルを用いてペット動物の災害対策について広報した。

実績： 広報対象人員 275人

ウ ペット動物災害対策QRコード付きチラシの新規作成と配布

ペット動物災害対策として、日頃からのしつけや準備が大切なことを広く県民に普及するため、子供でもわかるような内容のチラシを作成し、また、手に取ってもらいやすいように、チラシ入りティッシュにして、9月の防災月間に市町会員及び動物病院の窓口に配架した。さらに詳しい情報を発信するため、ティッシュチラシに、以前から協会で作成している「ペット動物の災害対策準備ができていますか？」のチラシデータをQRコードにし添付して、いつでも携帯から確認できるようにした。

配布場所：市町会員34ヶ所、動物病院194ヶ所

配布部数：22,000部

啓発資材：災害対策ティッシュ付きチラシ(除菌アルコールジェル付き)

エ ペット動物災害対策チラシの配布

配布場所：市町会員34ヶ所

配布資材及び部数

- ・ペット動物災害対策(犬編) B5 5,000部
- ・ペット動物災害対策(猫編) B5 3,000部
- ・ペット動物の災害対策準備ができていますか? A4チラシ(裏:狂犬病予防注射チラシ) 10,000部

2 動物の保護及び管理に関する事業

(1) 動物保護業務等受託事業

静岡県の委託を受けて、動物保護第1指導班(県東部保健所)、同第2指導班(県富士保健所)、同第3指導班(県中部保健所)、同第4指導班(県動物管理指導センター)が「狂犬病予防法」、「動物の愛護及び管理に関する法律」、「静岡県動物の愛護及び管理に関する条例」及び「静岡県動物愛護管理推進計画」に関する業務を実施した。

ア 受託業務の内容

- 動物愛護管理の普及活動
- 愛護動物の遺棄及び虐待の防止に関する指導及び措置

- c 犬の登録及び予防注射の督励
 - d 犬の保護及び収容
 - e 動物の適正飼育管理指導
 - f 犬及び猫の引き取り
 - g 保護した犬並びに引き取った犬及び猫の返還及び管理
 - h 被災動物保護・救護体制の整備
 - i 保健所長及び動物管理指導センター所長が必要と認めた業務
- イ 業務担当区域

指 導 班	事 務 所	管 轄 地 区
動物保護第 1 指導班	東部保健所	賀茂、熱海、東部保健所管内
動物保護第 2 指導班	富士保健所	御殿場、富士保健所管内
動物保護第 3 指導班	中部保健所	中部保健所管内
動物保護第 4 指導班	動物管理指導センター	西部保健所管内

ウ 動物保護指導班業務実績

各指導班の日常業務の多くは様々な苦情処理に割かれているが、本年度は 2,401 件の県民からの苦情・相談などに対応した。犬に関しては、「狂犬病予防法」に基づく登録・注射や鑑札・済票の装着を指導（5,026 件）した。「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく犬猫を含む愛護動物に対しては、適正管理・所有者明示・無責任な餌やりに対する指導（9,143 件）を実施した。

県民からの通報に基づく犬の保護・抑留は 184 頭であり、犬・猫の引取り頭数は 124 頭（犬 11 頭・猫 113 頭）であった。

保護・引取りした犬猫のボランティア団体又は個人への譲渡頭数は、183 頭（犬 83 頭・猫 100 頭）であった。

(2) 負傷動物等保護収容措置事業

静岡県への委託を受けて、公共の場所で負傷または疾病に罹っている所有者不明の指定動物（犬、ねこ、いえうさぎ、鶏、いえばと、あひる）の保護収容業務を実施した。

実 績 : 195 件（犬 9、猫 173、その他 13）

指定獣医師 : 193 名

(3) 静岡県動物管理指導センター週休日管理事業

静岡県動物管理指導センターの委託を受けて、週休日・祝祭日における動物舎の清掃、動物の飼養管理、動管センター動物愛護館並びに動物ふれあい広場の管理、動物愛護事業の補助等の業務を実施した。

(4) 犬・猫適正飼養等相談業務

静岡県への委託を受け、所有者の判明しない犬・猫の引取り、子犬・子猫をゆずる会並びに犬・猫の譲渡等の業務を実施した。

ア 所有者の判明しない犬・猫に関する相談の受付、引取り、運搬及び収容業務

実 績 () 内は子犬・子猫の再掲

項 目	第1班	第2班	第3班	第4班	計
犬引取り頭数	0	0	0	0	0
猫引取り頭数	0	0	0	3(3)	3(3)

イ 「子犬・子猫をゆずる会」に関する業務

a 子犬・子猫をゆずる会の開催

開 催 回 数 : 8回

譲渡候補動物頭数 : 57頭 (子犬 34頭、子猫 23頭)

b 子犬・子猫をゆずる会における飼育講習会の開催

受 講 者 数 : 75名

c 開催案内リーフレット・申込はがきの作成、配布

リーフレット : 1,700部

申込はがき : 1,600枚

ウ 譲渡候補となる犬及び猫の育成・譲渡

実 績

項 目	第1班	第2班	第3班	第4班	計
犬譲渡頭数	18 (18)	31 (12)	7 (5)	27 (4)	83 (39)
猫譲渡頭数	22	29	6	38	95

なお、() 内の数字は、犬譲渡頭数のうち、「成犬譲渡マニュアル」に基づき譲渡「適」と判定され、動物病院で健康判定を実施した譲渡候補犬の頭数。

(5) 静岡市動物愛護館管理事業

静岡市動物愛護館の指定管理者として業務を実施した。

ア 業務の内容

a 動物愛護に関する講習会等の開催

b 飼育相談

c 動物ふれあい広場の開設

d 施設・設備の維持管理

e その他、市長が必要であると認める業務

イ 来館者

実 績 : 令和2年度来館者数 8,471名

来館者の状況

平 日	土 曜 日	日 曜 ・ 祝 祭 日	イ ベ ン ト 開 催 日	計
2,686	1,769	3,169	847	8,471

ウ 動物愛護に関する講習会等の開催

延べ14回開催し、656名(大人497名・小中学生等159名)と234頭の動物の参加があった。

【主なイベントの参加人数及び参加動物頭数】

- ・わんちゃんプール〈動物用プール〉(全5回 242名・175頭)
- ・わんわん譲渡会〈ボランティア参加による譲渡会、ふれあい〉(153名・8頭)
- ・ネコを知ろう〈ボランティア参加による譲渡会、ふれあい、飼育相談〉
(130名・13頭)

エ 飼育相談

施設の利用、伝言板・イベント・火葬に関する問い合わせなど、3,896件に対応した。

【主な相談及び内容】

- ・施設利用への問合せ 1,655件
- ・譲渡及び迷子・行方不明の問合せ 740件
- ・ポッチとニャンチの愛の伝言板への問合せ 687件

オ 体験学習(インターンシップ)の受入れ

毎年度、市内の中学・高校・大学などから体験学習として生徒・学生等を受け入れているが、今年度はコロナウィルス感染症拡大のため体験学習の受入れを中止した。

カ 動物の譲渡件数

犬の譲渡	猫の譲渡	計
0	61	61

(6) 静岡市動物指導センターにおける土曜日動物火葬受付業務

静岡市の委託を受け、静岡市動物指導センターにおいて、土曜日のペット動物等の火葬受付並びに取扱手数料の徴収事務を実施した。

実績 : 火葬受付件数 388件

3 その他目的を達成するために必要な事業

(1) 職員の研修・会議・行事等への参加

第57回静岡県公衆衛生研究会(新型コロナウイルス感染症拡大のため、研究発表会は中止した。)

(2) 動物慰霊祭への参加

県下各地で開催された動物慰霊祭に参加し、動物の霊を慰めるとともに、各支部・市町との連携と情報交換に努めた。

開催年月日	名称	実施主体	開催地
令和2年9月24日	第48回 静岡市動物慰霊祭	静岡市動物慰霊祭 実行委員会	静岡市
令和3年2月27日	西部動物慰霊祭	静岡県西部動物慰 霊祭実行委員会	浜松市